



凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
令和7年度
第7号(11月号)



体育祭を終えて

校長 椿 智絵

雨天のため順延になりましたが、10月29日に多くの来賓、保護者の応援をいただく中、第73回体育祭が盛大に開催されました。

今年度の体育祭は、蕨二祭と時期を入れ替えて行ったため、練習の時から暑さを心配することなく実施できました。昨年までとは違い、さわやかな気候の中、日によっては肌寒さを感じる日もありましたが、スポーツの秋を満喫しながら短い期間ではありましたが、練習に取り組む姿が見られました。

練習は学年練習から始まったのですが、3年生の最初の学年練習を見て驚きました。

スリーナインの音楽が聞こえてきて、「今年も始まったな」と思い、校長室の窓から3年生の入場行進の様子を見ました。今年初めての行進練習とは思えないほどしっかりと行進をしている姿が見られました。腕をしっかり振り、足を高く上げ、顔も上げ、元気よく行進をしていました。

これまでの自分の経験では、リレーや大縄などクラス対抗の得点がかかる種目の練習は教員が何も言わなくても真剣に取り組む様子が見られました。しかし、入場行進、それも練習となるとなかなか真剣に取り組むことができず、いつもいつも「腕をふって！」「足を高く上げて！」「下を向かない！」「元気よく！」と注意ばかりしていたように思います。そのような記憶から、今年の3年生の入場行進の練習を見たとき、「なんでも一生懸命に取り組む3年生は素晴らしい」と一人感動していました。

全体練習で1年生、2年生も加わって入場行進の練習を行いました。3年生が頑張ってくれたおかげで、全学年が元気よく行進をすることができました。もちろん、体育祭当日もその姿を見ていただくことができたのではないかと思います。

もともと中学生は行事に一生懸命に取り組むところが自慢の一つであると思っています。繰り返し

になりますが、得点にかかわらない行進にまで一生懸命になれる生徒の皆さんを誇りに思います。

体育祭本番当日開会式の校長あいさつの中で、「一生懸命な姿は人に感動を与えます。競技でも、応援でも、係の仕事でも、精一杯取り組み多くの感動が見られることを期待しています。」と話しましたが、期待どおりにたくさんの感動をいただきました。二中生のパワーに圧倒された素晴らしい体育祭だったと思います。

体育祭が終了し、大きな全校行事はしばらくありませんが、行事の成果を日々の学校生活にいかし、1日1日を充実させてほしいと思います。

さて、体育祭関係の話をもう一つしたいと思います。それは「二中ストレッチ」についてです。全体練習の時に岩本先生が生徒に「二中ストレッチに入っている声は校長先生です。」と紹介してくれました。

平成5・6年度に埼玉県教育委員会から体力向上の委嘱を受け研究に取り組んでいました。そのときに作成したのが「二中ストレッチ」です。

放送室にこもって当時はカセットテープにマイクを使用して声を吹き込みました。二中ストレッチにたどり着くまでにいくつも体操を作りました。屈伸、伸脚などのいわゆる徒手体操にあうテンポの速いリズムカルな曲で作ったこともありましたが、当時運動前にはストレッチで体をほぐすことが効果的であるという考えが広まってきた時期であり、音楽に合わせて行うことで生徒の皆さんが少しでも楽しく運動に取り組むことができればと考え、一生懸命作りました。

そんな「二中ストレッチ」を今も二中学生がしっかり行ってくれていることが大変うれしいです。ぜひ、これからも大事にしてくれることを願っています。



《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒	(知)
心豊かで、思いやりのある生徒	(徳)
たくましく、健やかな生徒	(体)

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：<http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp